

<p>教材名</p> <p>煮干しの解剖</p>	<p>備考</p>
--------------------------	-----------

<p>教材の写真</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="247 472 858 927" style="text-align: center;"> <p>煮干しで解剖 (カタクチイワン)</p> <p>背びれ 胸びれ 腹びれ 尻びれ 尾びれ えらぶた(鰓) 頭 えら さいは (心臓) ↑ 肝臓 内臓 背骨 血管(黒い手じ) 筋肉など</p> </div> <div data-bbox="890 416 1345 927" style="text-align: center;"> <p>仮説社 オリジナル入門シリーズ6</p> <p>煮干しの解剖教室</p> <p>小林真理子</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <p data-bbox="389 936 647 978">にぼしの解剖台紙</p> <p data-bbox="1066 936 1165 978">参考本</p> </div>	
--	--

<p>対象 (学習グループ例)</p>	<p>身体の構造をある程度把握している生徒。</p>
<p>目的 ねらい</p>	<p>魚などの生き物は、脊椎動物なので、ヒトと同じような器官を持っている。ヒトと同じ器官でも大きさや形が違うことを知り、生物の多様性を感じる。</p> <p>解剖を通して、自分の身体について理解を深める。</p>
<p>使用方法 使用上の留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大きくて、きれいなにぼしを2匹使用する。 ・虫眼鏡を使用し、しっかり観察を行ってから解剖を行う。 ・一匹は、観察のために置いておく。 <p>解剖の手順 (参考本に記載されている)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 頭部を手でちぎり、部位を確認する。 ② 確認後、頭部の部位を台紙にボンドで貼る。 ③ 胴体を二つに分けて、臓器や骨を確認する。 ④ 確認後、胴体の部位を台紙にボンドで貼る。
<p>備考 (材料等)</p>	<p>仮説社 オリジナル入門シリーズ6 煮干しの解剖教室</p> <p>http://kasetusha.cart.fc2.com/ca46/603/p-r-s/</p> <p>煮干しの解剖資料室</p> <p>http://www.geocities.jp/niboshi2005/</p>